

17 弥高山ーモナドノック地形ー（高梁市川上町高山）

写真



解説

岡山県から広島県中部の吉備高原地域には、中新世後期（約 8Ma）に活動した玄武岩溶岩の火道が風化から残って残丘化したモナドノック地形が点在する。弥高山は標高 654m で吉備高原から一段抜け出した高さとなっており、吉備高原を一望でき、秋には雲海を眺めることができる。新見市哲西町の荒戸山も同様で、このエリアにあるモナドノック地形の山は当時の断裂系に規制された配置をしていると指摘されている。

提供者 氏名 能美 洋介 所属 岡山理科大学